

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年3月31日

計画の名称	32 街路整備による緊急対策が必要な通学路の安全性の確保(防災・安全)									
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)	交付対象	福岡県、春日市、福津市							
計画の目標	市街地における自動車交通の集中により、歩行者、自転車交通の交通事故対策が喫緊の課題であり、街路整備により通学路安全プログラムにおいて対策箇所となっている通学路の安全対策を早急に推進する。									
計画の成果目標(定量的指標)	・要素事業において、通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率を向上(H29末)する。									
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考		
						当初現況値	中間目標値	最終目標値		
	要素事業において、通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率を算定する 通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率(%)=(通学路の安全が確保された箇所数)÷(要素事業の対策箇所数)×100					0%	-	71.4%		
	合計(A+B+C)	3,632 百万円	A	3,632 百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%

事後評価									
○事後評価の実施体制、実施時期									
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期				
要素事業において、通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率を算定する					平成29年9月8日～平成30年3月2日				
					公表の方法				
					ホームページ及び閲覧				

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
												H25	H26	H27	H28	H29		
32-A1	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	5.5/10	光岡東郷線	踏切除却 0.71km	宗像市						126	完了
32-A2	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	5.5/10	那珂川宇美線(下白水工区)	改築 0.56km	春日市						80	完了
32-A3	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	5.5/10	那珂川宇美線(小倉工区)	改築 0.79km	春日市						70	完了
32-A4	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	5.5/10	久留米駅南町線	改築 0.95km	久留米市						1,962	完了
32-A5	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	5.5/10	長溝線	踏切除却 0.70km	大牟田市						16	完了
32-A6	街路	一般	春日市	直接	春日市	S街路	改築	5.5/10	小倉紅葉ヶ丘線	改築 0.24km	春日市						80	完了
32-A7	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	5.5/10	中央団地川宮線外1線	改築 0.84km	田川市						685	整備中
32-A8	街路	一般	福津市	直接	福津市	S街路	改築	5.5/10	福岡駅地区(市)	結節点改築 0.50km	福津市						314	完了
32-A9	街路	一般	福岡県	直接	福岡県	S街路	改築	5.5/10	行橋停車場線	改築 0.55km	行橋市						299	整備中
小計(市街地整備事業)															3,632			
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
											H25	H26	H27	H28	H29			
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・要素事業において、通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率を算定する(当初目標より+6.4%進捗できた)			
II 定量的指標の達成状況	指標①通学路交通安全プログラムの対策箇所の整備率を算定	最終目標値	71.4%	目標値と実績値に差が出た要因	効率的な事業執行に努め、目標を達成した。
		最終実績値	77.8%		
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
	最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項(今後の方針等)					
・特に危険な通学路の安全確保を図るため、緊急合同点検における危険箇所への歩道設置を進めます。					

(様式第8)

社会資本総合整備計画 参考図面

